

「生命(いのち)の基金」チャリティーバザー

高新会婦人部「なでしこ会」

長年継続している 読者を巻き込んだ幅広い活動 地域医療、難病対策に貢献

- 実施期間
昭和63年12月～
(年1回開催＝今年20回目)
- 実施地域
高知県高知市内
- 活動概要
高知新聞は、難病に取り組む研究などを行う団体や個人、難病と闘う患者への助成を目的に、公益信託高知新聞・高知放送「生命(いのち)の基金」を平成元年9月に設立した。これまでに高知医療センターの研究費をはじめ、100件を超える団体・個人に助成し、地域医療や難病対策に貢献している。

この基金設立前から、高新会婦人部「なでしこ会」は全面協力。平成2年からは、毎年1回、会員や発行本社役員、読者から提供される生活雑貨や引き出物、野菜、海産物を中心に、近年は会員による手作り商品も加え、チャリティーバザーを開催し、その売り上げを基金に寄贈している。

「なでしこ会」のチャリティー活動は、基金

設立前に開催したオークションなど2回分を含め、平成19年で20回目を迎える。長年継続して、読者を巻き込んだ幅広い地域貢献活動として高く評価された。

*

高新会婦人部「なでしこ会」(中谷幸子会長)＝高知新聞の販売所で組織する「高新会」の女性組織。販売所の女性所長39人(全所長137人の28%)と所長夫人ら94人で組織。昭和36年11月発足。



高知放送ラジオの呼び掛けで「生命の基金」に次々と浄財が寄せられた『サンシャイン朝倉』の店頭

呼び掛けに善意続々

高知市 朝倉 高新会婦人部も協力

ラジオ「坂本好大店長」店頭で繰り広げられた、ラジオ放送を通じての「生命の基金」の呼び掛けに早くも多くの善意が寄せられた。

高知放送ラジオは四月から放送を通じて「生命の基金」の趣旨の周知を続けており、十月から街頭に出て募金活動を展開することを決めていた。市朝倉、サンシャイン朝倉、また、この活動を高知新聞販売所、協力が続いている。

RKCラジオ募金スタート

ラジオ「坂本好大店長」店頭で繰り広げられた、ラジオ放送を通じての「生命の基金」の呼び掛けに早くも多くの善意が寄せられた。

高知放送ラジオは四月から放送を通じて「生命の基金」の趣旨の周知を続けており、十月から街頭に出て募金活動を展開することを決めていた。市朝倉、サンシャイン朝倉、また、この活動を高知新聞販売所、協力が続いている。

高知新聞 昭和63年10月16日付朝刊

高知新聞「生命の基金」販売店の女性でつくる「高新会婦人部」でチャリティーバザーを開き、写真、売上金約十二万六千円を生命(いのち)の基金に寄付した。

バザーの売上金を寄付

高新会婦人部・なでしこ会

高知新聞「生命の基金」販売店の女性でつくる「高新会婦人部」でチャリティーバザーを開き、写真、売上金約十二万六千円を生命(いのち)の基金に寄付した。

高知新聞 平成3年12月26日付朝刊

「なでしこ会」のチャリティーバザー

(高知市のひろめ市場)

高知新聞販売所の女性所長や所長夫人でつくる「なでしこ会」が九日、高知市帯屋町二丁目のひろめ市場でチャリティーバザーを開いた。

昭和六十三年に「生命(いのち)の基金」が創設されたのを機に始まったバザーで、十九回目。各販売所の地元で収穫された農作物や持ち寄ったタオル、食器などを格安で販売した。

会場には多くの女性客が集まり、「去年もまたま通りかかったらやっていた。安いし、見るのも楽しい」と目当ての商品を次々購入。商品は二時間では完売し、売上金は総額二十万九千二百十円に達した。

メンバーが集めたアルミ缶のリサイクル料三万九千五百円と、この日の売上金を合わせた全額を同基金に寄付する。(尾崎 詩)

高新なでしこ会 恒例慈善バザー

高知市

高知新聞販売所の女性所長や所長夫人でつくる「なでしこ会」が九日、高知市帯屋町二丁目のひろめ市場でチャリティーバザーを開いた。

昭和六十三年に「生命(いのち)の基金」が創設されたのを機に始まったバザーで、十九回目。各販売所の地元で収穫された農作物や持ち寄ったタオル、食器などを格安で販売した。

会場には多くの女性客が集まり、「去年もまたま通りかかったらやっていた。安いし、見るのも楽しい」と目当ての商品を次々購入。商品は二時間では完売し、売上金は総額二十万九千二百十円に達した。

メンバーが集めたアルミ缶のリサイクル料三万九千五百円と、この日の売上金を合わせた全額を同基金に寄付する。(尾崎 詩)

高知新聞 平成18年12月10日付朝刊

- 基金設立のきっかけ
高知新聞連載「生命は守られているか」
連載終了後、共鳴した読者の声をきっかけに基金が設立された。
- 昭和61年4月6日スタート
同62年7月9日終了
- 5部構成、全151回掲載
第1部 闘う佳子・13歳 水難障害児の日々
第2部 鼓動を止めるな 未熟児室の中から
第3部 なぞの白血病 ATLを追って
第4部 長寿新時代
第5部 「あす」再び・腎移植記者の記録
- 昭和62年、第6回アップジョン医学記事賞特別賞を受賞

「生命は守られているか」

高知新聞連載「生命は守られているか」

高知新聞連載「生命は守られているか」

課題山積の高知県

高齢者・新生児・障害者

高知新聞連載「生命は守られているか」

「生命(いのち)の基金」チャリティーバザー | 高新会婦人部「なでしこ会」

■チャリティーバザーの様子(平成18年12月9日、高知市・ひろめ広場)



▼なでしこ会会員勢ぞろい!準備万端



▼黒山の人だかり



▼まもなくオープン



▼読者の農家から提供された野菜も大好評

